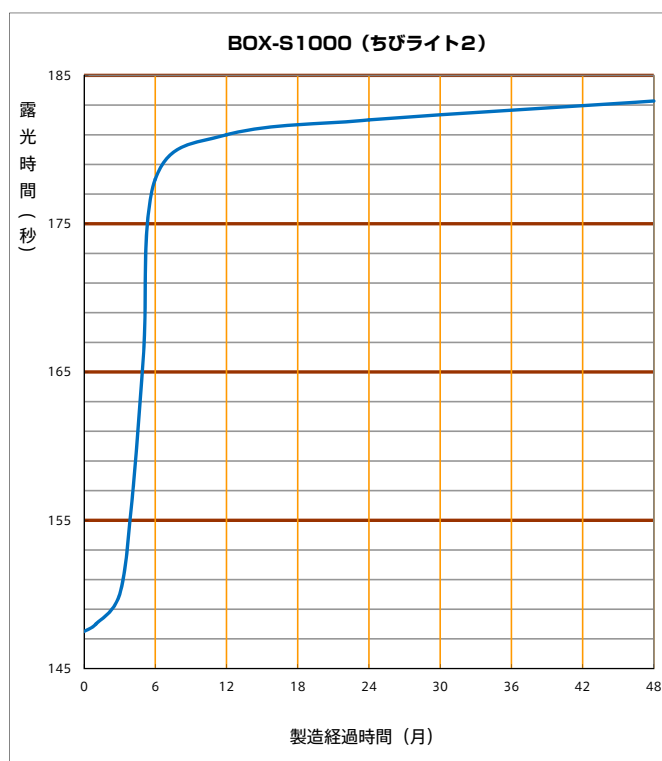
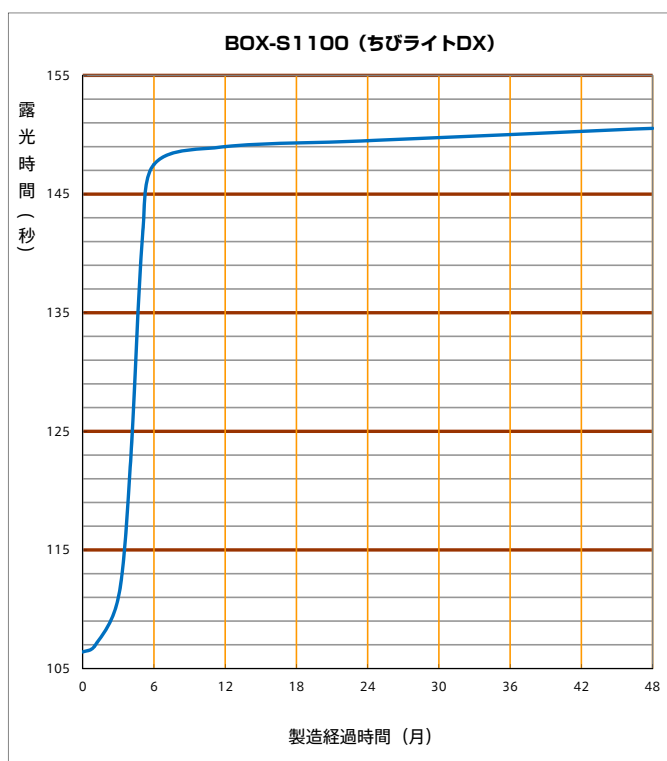
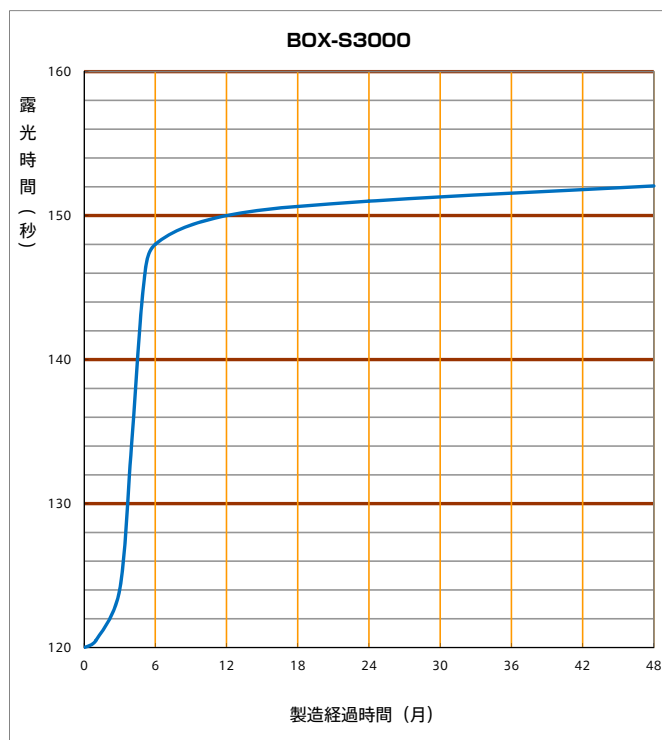
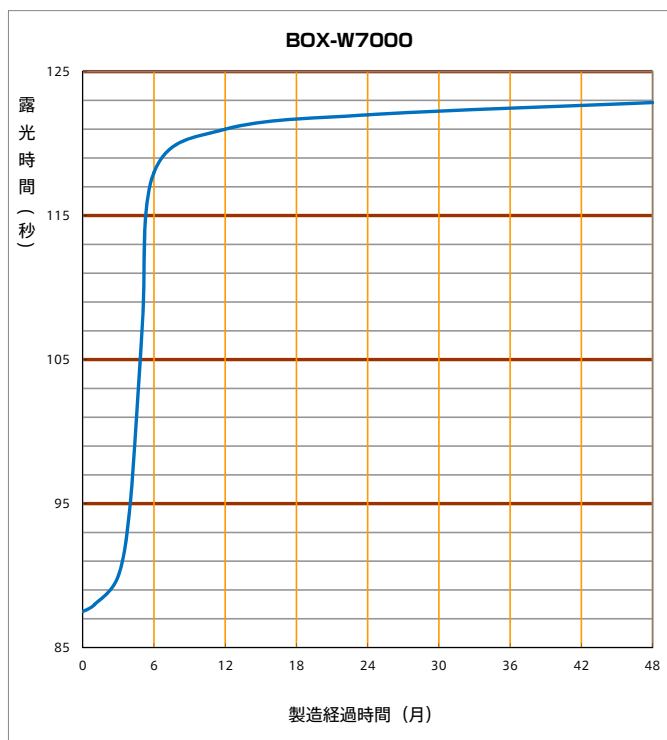


■露光秒数の算定方法

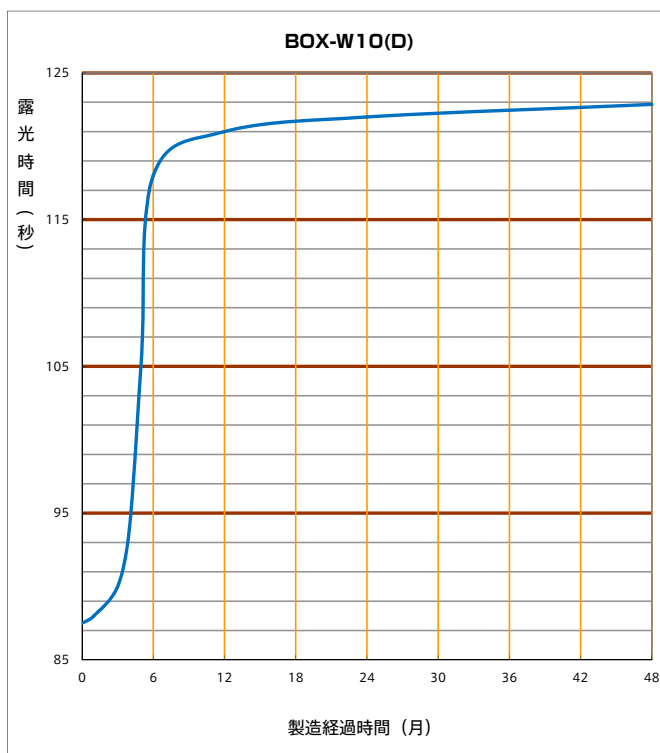
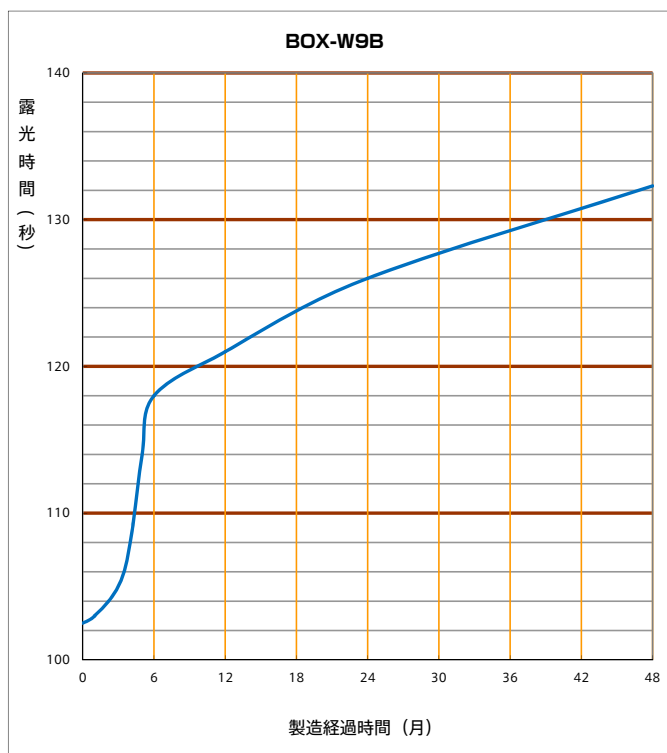
- 1) クイックポジ感光基板のラベルに製造日が印字されていますので、確認します。
- 2) 使用するライトボックスのグラフを使用し、製造日から作業日までの経過期間（月単位）をX軸に取り、曲線と交わる点を見つけます。
- 3) 交わる点のY軸が露光秒数になります。

■ご注意

- ※クイックポジ感光基板の有効期限は製造から3年間です。グラフは48ヵ月まで表示していますが、参考のためであり保証外です。
- ※必ず、使用するライトボックスに合った露光プロフィールを使用して下さい。
- ※この表は目安を記載していますので、最適な露光時間は数回のテストを行って決定して下さい。
- ※露光の際は、クランプを使用して、感光基板とフィルムの間に浮きがないこと確認して作業を行って下さい。
- ※露光作業を行う前に、蛍光管が劣化していないかを確認し、劣化の兆候が見られる場合は、蛍光管を交換してから作業を行って下さい。
なお、グロー管を使用している機種の場合は、グロー管も併せて交換して下さい。
- ※蛍光管は光量が安定するまで2～3分かかります。作業開始前に、予備点灯を行っておくことをおすすめします。



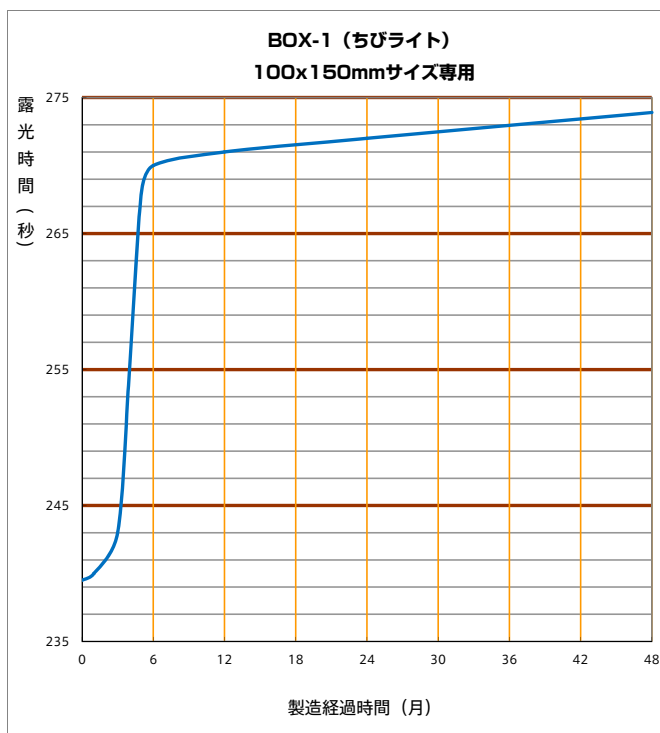
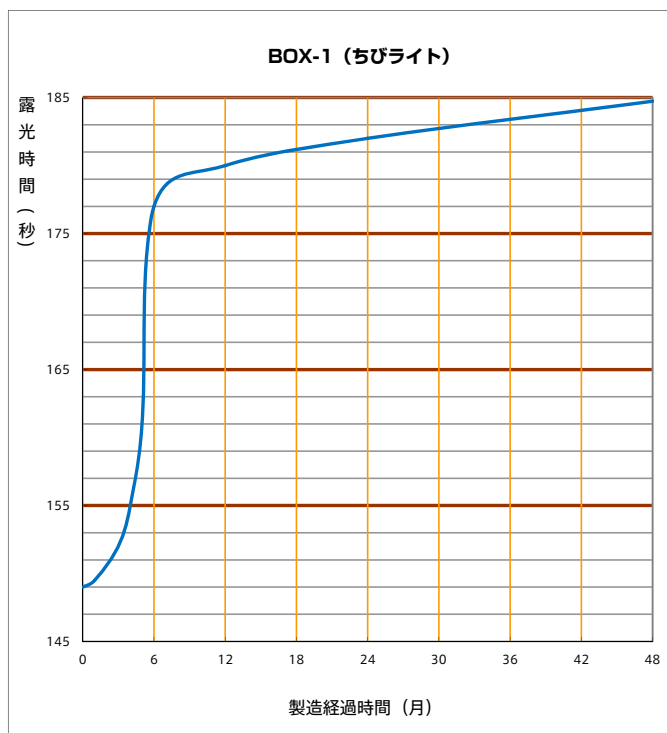
NZシリーズ感光基板 露光プロフィール



■BOX-1使用時のご注意

※BOX-1 (ちびらいと) は、中央部と周辺部の光量差が他のライトボックスに比べて大きいため、2つのグラフを用意しています。

- 1)
 - ・ 100 x 150mmより小さいクイックポジ感光基板を使用する場合は、左のグラフを使用し、露光時間を決定してください。
 - ・ 現像は、通常どおり行います。
- 2)
 - ・ 100 x 150mmサイズのクイックポジ感光基板を使用する場合は、右のグラフを使用し、露光時間を決定してください。
 - ・ 現像の際はパターンが浮き出してくるのをよく確かめて、現像時間が長すぎないように注意してください。



サンハト株式会社

本社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-40-1
☎ 03-3984-7791 FAX. 03-3971-0535

2017年10月23日

MNL-NZP002-04